

見えるもの 見えないもの

— 画家 大崎真理子のみた風景 —

23歳の若さでこの世を去った画家 大崎真理子——
いま、絶筆「あの日のユンボ」を描くまでの
創作の道程が紐解かれる!

【出演・協力】大崎真理子/大崎文子/大崎勝章/法貴信也/平田慎一/加納明香/
京都市立芸術大学 美術学部のみなさん/私立高知学芸高等学校 美術部のみなさん
【プロデューサー】筒井勝彦 【監督】筒井勝彦 【撮影】秋葉清功 【撮影】石崎俊一
【ナレーション】筒井和香【音響】オフィスハル【編集・選曲】筒井勝彦【制作】筒井 厚/弘光健二
【WEBサイト作成】ブレン・ブラン 島 親夫 【協賛】西森幹展/植田 伸
【アンバサダー】千崎敏司(土佐市観光大使)
【制作プロダクション】オフィスハル【企画・配給】「見えるものと見えないもの」製作委員会
【上映時間】52分/FHD/カラー/2022年/JAPAN

2022 7/20^[wed] ▶▶▶ 7/28^[thu]

上映開始時間 ① 11:00~ ② 13:00~
③ 15:00~ ④ 17:00~
(22日上映休み、24日③④のみ、25日は①②③のみ)

Exhibition

大崎真理子展

『あの日のユンボ』迄の歩み

会期中1階ロビーにて、作品展示。詳細は裏面をご覧ください。

Talk Live

トークショー&ミニライブ開催!

(唄・ピアノ// 矢野絢子)

日時 7/24^[sun] 13:00~

土佐市複合文化施設

つな-て

〒781-1102 土佐市高岡町乙3451-1 Tel:088-852-2111
アクセスや駐車場情報等、詳細は裏面をご覧ください。

映画・展示ともに
無料

CINEMA

大崎真理子展

『あの日のユンボ』迄の歩み

会期 2022 7/20^[wed] ▶▶▶ 7/28^[thu] 9:00-22:00
 主催者在廊時間10:00-18:00
 7/25(月)は17:00まで

2020年3月に高知市文化プラザかるぼーとで遺作展が開催されました。今回、その作業に関わった方のドキュメンタリー映画が出来上がりました。地元の土佐市の協力もあり、上記の期間上映会を開催する運びとなりました。また、同会場にて作品の展示も行います。ぜひ、多くの方にご観覧いただきたくご案内申し上げます。

見えるもの
見えないもの
— 画家 大崎真理子のみた風景 —
同時上映！ 詳細は裏面をご覧ください。



「56号線がみえる」2016年 182×227



「見えるものと見えないもの」2017年 250×400

日常生活をする中にある
生命のないものに、
私は“何か”を垣間見ることがある。

その“何か”が生命をもつものと
共に同じ場所で生きている姿を、
絵にしたい。 本人のInstagramより



1994年 高知県生まれ
2001年 江戸川区立葛西小学校 入学
2007年 土佐市立北原小学校 卒業
土佐市立高岡中学校 入学
2010年 土佐市立高岡中学校 卒業
私立高知学芸高等学校 入学
2013年 私立高知学芸高等学校 卒業
京都市立芸術大学 美術学部美術科 入学
2017年 京都市立芸術大学 美術学部美術科油画専攻 卒業
京都市立芸術大学 大学院美術研究科修士課程絵画専攻油画 入学
2018年 2月8日 永眠
2020年 遺作展「大崎真理子展」かるぼーと、高知

土佐市複合文化施設
TOSA CITY CULTURAL COMPLEX

つな—で

〒781-1102 土佐市高岡町乙3451-1 Tel:088-852-2111

駐車場台数

【地下】44台 【第1】48台 【第2】41台
【第3】14台 【第4】139台 【合計】286台

主催 大崎勝章
共催 土佐市、土佐市教育委員会
後援 京都市立芸術大学、高知学芸高等学校、
高知学芸高等学校同窓会、高知新聞社、RKC高知放送、
KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ



展示・映画ともに
無料